

租税訴訟学会理事会 議事録

日 時： 平成 29 年 06 月 16 日（金） 19 時 00 分～20 時 00 分
場 所： 弁護士会館 10 階 1008 会議室
参加者： 朝倉洋子、秋葉武、大塚一郎、田口渉、土屋清人、長島弘、守田啓一、
山下清兵衛、山本守之

敬称略

議 事： 1. 各部会・支部活動報告
2. 民間税調について
3. 夏期研修について
4. IT 総会の報告
5. 名誉会員制度について
6. 副会長の選任について

1 各部会・支部活動報告

(1) 研究提言部会報告【別紙 1】

・第 53 回研究報告会について

日 程：10 月 3 日（火）（仮予約）

場 所：東京税理士会大会議室

テーマ：未定

講 師：弁護士 石井亮 先生

(2) 研修部会（大塚一郎理事）

・租税判例研究会

日 程：7 月 18 日（火） 18:30～

会 場：立正大学品川キャンパス 11 号館 7 階 1172 教室

テーマ：「非居住者である株主の特定外国子会社が留保する国外源泉所得に対する合算課税」

講 師：長島 弘 先生、山下 清兵衛 先生

2 民間税調について

三木義一先生が青山学院大学の学長に就任され、多忙のため、当学会が民間税調の事務を引き継ぐこととなり、菅原万里子理事と脇谷英夫理事にご協力をお願いしたい。

HP の更新は予算を作って外部に依頼する意見が出された。

3 夏期研修について【別紙 2】

(1) 過去資料の無料配布について

夏期研修で余った過去資料は、東弁及び日本税務会計学会の多田会長にお送りし、入会申込書と一緒に配布をお願いします。

後々、過去資料をPDFファイルに変換して、会員がHPから自由にDLが出来るようにしたい。NET会員（弁護士・税理士に限らない協力会員）制度を作り、財政を豊かにしたい。

(2) 招待状

今村隆先生他、研究者に2日目の招待状を送る。

首藤先生・阿部先生・三木先生・増田先生・川井先生らを予定。

4 IT 総会の報告【別紙A】

5月18日から6月1日の期間に開催した。定足数（303名）を超え、全ての議案が可決された（行使済315名／定足数303名）。次回（平成30年度）もご協力をお願いしたい。

5 名誉会員制度について

功績があった方で退会の申し出があった場合に、名誉会員として留まっていたき、行事の連絡は継続する（紀要送付はなし）。明確な基準を作成し、次回理事会で提案する。

6 副会長の選任について

副会長を増やすと常任理事会の定足数の問題があるため、副会長は名誉職にする（会長副会長は理事会に自由出席）という案が出された。

研修部会の副会長は大塚先生にお願いすることになった。

争訟部会の副会長は多田先生もしくは藤曲先生にお願いしたい。多田先生経由で日本会計学会から指名をお願いします。

東京税理士会（研修担当副会長は、鈴木雅博税理士）にもお願いします。

次回理事会は、平成29年7月20日（木）19時00分～、弁護士会館1008号会議室

次回議題：部会報告など

次回議案に対するご提案等は、下記総務企画部（Email / FAX）までお願い申し上げます。

租税訴訟学会総務企画部

FAX: 03-3586-3602

Email: info@sozei-soshou.jp

<http://sozei-soshou.jp/>

租税訴訟学会 研究提言部会 議事録（平成29年5月17日）

作成：田口 渉

平成29年6月16日、午後6時30分より、弁護士会館1008号室において、下記のとおり、租税訴訟学会研究提言部会が行われた。

第一 出席者

山本守之副学会長、朝倉洋子、秋葉武、守田啓一、田口渉

第二 議事内容

1. 第53回研究報告会について

(1) 日時：平成29年10月3日（火）

※仮予約しております。正式な手続きは、三か月前の7月3日に行います。（田口）

(2) 会場：東京税理士会館

(3) 研究発表テーマ：未定

(4) 発表者：石井亮（弁護士）

(5) 分担（敬称略）

当日の分担については、次のように予定しております。

①司会

②あいさつ

③受付・入会申込 事務局

④案内

・学会会員 総務部会

・弁護士会 東京三会を牛嶋、菅原。二弁税法研究会を山下副会長。

・税理士会 下記のとおり分担する。

・日本税務会計学会並びに東京税理士会広報を東京税理士会事務局。

・全国女性税理士連盟研究部 朝倉

2. その他

※次回の研究提言部門会議の日程 平成29年7月 日（ ）

総務企画部

1. 研究会・支部報告

(1) 開催予定

[第53回研究報告会]

日 程：9月もしくは10月
会 場：東京税理士会大会議室
テーマ：未定
講 師：未定

2. 夏期研修について

(1) 日程・会場について

日 程：8月26日(土)、27日(日)
会 場：中央大学駿河台記念館(1日目：280号室、2日目：670号室)

(2) 行程表

別紙案内の通り。

3. 平成29年度 IT 総会について【別紙A】

平成29年5月18日(木)～6月1日(木)の日程で総会を開催した。
定足数(303名)を超え、第1議案・第2議案・第3議案・第4議案すべて可決された。次回(平成30年度)もご協力をお願いしたい。

4. 理事・争訟部会副会長選任について

(1) 理事について

菅納敏恭先生から、理事は引き受けられないとの連絡があった。

(2) 争訟部会副会長選任について

青木康國副会長の後任を理事会にて選任する。
副会長は、それぞれの母体から選出し、数を増やしてはどうかと考える。また、副会長専務理事、常任理事など役職を増やし、各支部から人選をしたい。

(参考案)

日弁連税制委員会(関戸)
東京弁護士会(菅原・館)
第一東京弁護士会(牛嶋・小田)
第二東京弁護士会税法研究会(大塚)
東京税理士会(菅野・鈴木)
日本税務会計学会(多田・藤曲)
守之会(山本守之)
東京地方税理士会(長谷川)
東京税理士会各支部
千葉税理士会
租税法関係学会
タインズ(朝倉)

5. 民間税調・民間通達・民間最高裁判所について

(1) 民間税調(代表三木義一先生)から協力要請があった。租税訴訟学会で事務局を引き受け、担当理事は、菅原・脇谷弁護士をお願いしたい。

- (2) 個別事件の依頼を受け、争点について、学識や実務経験のある者に、民間通達を作成していただくシステムを構築したい。
会員の中から学識の高い方や実務経験の豊富な方を選出し、民間裁判官として判決書きを出してもらおう。鑑定意見書の異なる形である。

6. 母体・提携団体・法人会員・名誉会員制度

- (1) 本学会の発展を企図し、本会の母体（日弁連税制委員会・日本税務会計学会）作りをなし、提携団体（タイムズなど）と提携、法人会員や名誉会員制度（会費免除）を設けたい。
(2) 2015年12月に永島正春弁護士から退会申出があったが、名誉会員就任を要請したい。

7. 紀要その他出版計画について

- (1) 紀要第10号について
会員には発送済みである。
(1) 志賀記念出版（『法的紛争処理の税務』改訂版）について
あまり発行が遅くなると内容を修正する必要が生じるため、なるべく早い発行を目指す。一度担当者全員で集まる必要がある。

8. 租税訴訟学会税法研究所

- (1) 活動内容
既に設立されているが、以下の事業を行う理事会の諮問機関として活動させたい。
① 租税訴訟情報や過去研修のデータベースを構築する。
② 情報収集ネットワークを構築するため、インターネットで無料ネット会員を募集する。
③ 研究員制度を設置する。博士号取得の斡旋をする。
④ 専門登録をする。
⑤ 税務調査相談センターを設置する。
⑥ 法科大学院電子会議室を設置した。
- (2) MLの活性化と専門管理者
メーリングリストで活発に発言していただける方に管理者をお願いしたい。
そのため、各研究会を募集し、その責任者を決めたい。責任者は、関係事項に関する質問に対し、必ず回答しなければならないとしたい。そして、その Q&A をデータベースに残し、良い議論があれば出版したい。
また、当学会を活性化させる方法として、電子会議室を利用しインターネット上の専門部会を作っていきたい。インターネットを利用した会員募集を行っていきたい。
- (3) 租税公正基準の公表
紀要のみならず、研究員によって租税公正基準を作成し、公表する。租税公正基準制定委員会を設置する。

平成29年度IT総会 集計結果

第1号議題 平成28年度収支報告の件(自平成28年1月1日至平成28年12月31日)

第2号議題 租税訴訟学会活動報告及び各部事業計画の件

第3号議題 規約改正の件

第4号議題 理事・監事の選任の件

全会員数	1,516
メール送信人数	1,373 (メール登録会員 1441名 うち 送信エラー68名)
FAX送信人数	70 (FAX登録会員 72名 うち 送信エラー 2名)
直接送付人数	0
送付合計	1,443

	メールでの連絡				FAXでの連絡				
	第1号議題	第2号議題	第3号議題	第4号議題	第1号議題	第2号議題	第3号議題	第4号議題	
承認	232	232	232	230	83	83	83	82	315
否認	0	0	0	0	0	0	0	0	承認議決権数
保留	0	0	0	2	0	0	0	1	
合計	232	232	232	232	83	83	83	83	
議決権行使数							315		
定足数							303		

【ご意見・ご提案等】

- ・理事候補に私の名が入っていますが、お引き受けできませんので、ご容赦ください。(菅納 敏恭先生)
- ・水野武夫先生の現職ですが、本学の法科大学院は退職されております。ご確認ください。(望月爾先生)